

高等学校 学校評価一覧表 ② (平成21年度版) 群馬県立沼田女子高等学校

(様式2)

羅 針 盤		達成度			改善状況のまとめ	次年度の課題	
評価対象	評価項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①各教育活動に満足している生徒が90%以上である。	B	B	B	①84%の生徒が充実した学校生活を送っている。	①目標値である90%の達成に努める。
		②コーラスコンクール、球技大会、沼女祭等の学校行事を通してクラスの和が高まったと感じている生徒が90%以上いる。	B	B	B	②沼女3大行事である沼女祭・球技大会・コーラスコンクールは、生徒の自主的な活動のもとにクラスの和が高まった。	②主体的な取組をさらに推進する。
		③「朝の読書」に主体的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	B	A	A	③正副担任で毎朝指導し、きわめて良く取り組んだ。	③継続する。
		④海外短期留学をした生徒の90%以上が満足をしている。	A		A	④昨年度末に留学した生徒全員が満足している。本年度は新型インフルエンザの流行で中止した。	④実施方法を若干変更し継続する。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑤習熟度別授業や少人数授業はその目的を十分にはたしている。	B	A	A	⑤英語、数学の少人数指導や習熟度別指導の効果は大きかった。	⑤個々の到達目標を設定し、きめ細かい指導を行う。
		⑥生徒の実態を踏まえ、到達度に応じた学習指導を実施し、学習に対する達成感・満足感を持っている生徒が80%以上である。	B	A	A	⑥満足度が高いものとなった。	⑥継続する。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑦授業に意欲的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	B	B	B	⑦各教科で授業改善に努め、生徒は意欲的に取り組んだ。	⑦個に応じた指導を充実させる。
		⑧授業で理解できないことがある場合に、80%以上の生徒はその理解の方策を考える。	A	B	B	⑧1・2年生については、質問が増加したが、3年生は減少した。3年生に独習の傾向が強まったためと考えられる。	⑧開かれた職員室とし、生徒の質問にいていねいに対応する。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑨生徒の社会性・規範意識の向上を目指し、あいさつ指導や身だしなみ指導等を年間を通して全職員で積極的に取り組んでいる。	B	B	B	⑨朝指導を行っている。規範意識・あいさつ等しっかりと身につけている。身だしなみについて十分とはいえない。	⑨校門でのあいさつ・遅刻防止指導を継続する。身だしなみについて指導を工夫する。
		⑩進学指導や学習指導等を年間を通して全職員で積極的に取り組んでいる。	B	A	A	⑩情報に基づいて、生徒個々の目標に合わせて指導した。	⑩学年を超えての情報交換を行い継続的な指導をおこなう。
		⑪部活動指導を年間を通して全職員で積極的に取り組んでいる。	B	A	A	⑪積極的に取り組み、運動部・文化部ともに活躍した。	⑪継続する。
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑫適切な理由がない遅刻者は毎日いない	A	A	A	⑫⑬早朝よりHR開始時まで毎朝校門指導を行っているため、正当な理由のない遅刻者はいない。 来客・来賓によくあいさつができると評価されている。 ⑭制服の着用について、若干問題があった。	⑫⑬継続して取り組む。
⑬自らあいさつができる生徒が90%以上である。	A	A	A	⑭制服の着用について、若干問題があった。	⑭制服の着こなし等について、指導を充実させる。		
⑭制服を適切に着用している生徒が90%以上である。	B	B	B				
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	⑮進路実現にむけて積極的に取り組んでいる生徒が90%以上である。	B	B	B	⑮早期(1学年)から進路目標に向かって取り組んでいる。	⑮卒業生の体験を語ってもらうなど、自分の将来を具体的に考える動機付けをはかる。
		⑯生徒の将来の進路志望を理解・支援している保護者が80%以上である。	B	A	A	⑯三者面談を通して理解が深まっている。	⑯保護者と情報を共有し、連携をとりながら指導する。
	7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑰進路実現のために積極的に授業に参加している生徒が80%以上である。	B	A	A	⑰生徒との面談は随時行われている。日頃のコミュニケーションを大切にしている。	⑰授業改善により、生徒が積極的に取り組める授業にする。
		⑱進路実現のために家庭学習時間を2時間以上行っている生徒が80%以上である。	C	B	B	⑱3年生を中心に家庭学習時間は増加しているが、目標値に届かない	⑱家庭学習を定着させるような授業展開、及び個別指導で学習へのアドバイスをする。
		⑲部活動と学習の両立を図っている生徒が80%以上である。	B	B	B	⑲部活動と学習が両立できるよう早朝補習を実施、生徒の要望に応じている。また、授業日や長期休業中の補習について、希望に応じて受講できる態勢を作っている。	⑲部活動顧問と学級担任が連携し、生徒の学習・部活動指導にあたる。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑳学校の教育活動を理解してもらうために年2回以上の授業公開等を行っている	A	A	A	⑳「学校公開」は年2回実施した。来校者は年々増加しているが、本年度2回目については、新型インフルエンザの影響で減少した。 5月 17～21年度 105→141→218→259→271 11月 17～21年度 99→116→116→167→129	⑳来年度も参加しやすいように土曜日に実施し、参加の呼びかけを十分に行い内容の充実をはかる。
		㉑ホームページを1週間に1回以上更新し、新鮮な情報を伝えている。	B	A	A	㉑ホームページには、「沼女日記」で最新情報を掲載、更新は毎週行った。	㉑総合的に、早い、正確な情報発信を行う。
		㉒PTA総会や授業参観等に参加している保護者が70%以上である。	B	B	B	㉒PTA総会などの出席率は年々増加している。	㉒保護者が参加しやすく(土曜実施)、興味を持てるPTA総会(進路講演会を入れる)として継続する。
		㉓保護者や地域の中学に学校通信を年3回以上発行している。	A	A	A	㉓「沼女通信」は3回発行。「2学年通信」は、修学旅行に関連して内容が充実していた。「進路ニュースは、各学年版として内容が充実した。	㉓適宜、きめ細かな情報発信に努める。